



日耳鼻医学会 F A X ニュース NO 156

平成21年9月10日 発行 (特)日本耳鼻咽喉科医学会 E-mail jimuj@jenti.or.jp HP http://www.jenti.or.jp
〒104-0031 東京都中央区京橋2-11-8 全医協連会館5F FAX 03-5524-5228 TEL 03-5524-5230

東京フォーラム2009 好評のうちに終了

9月5日(土)・6日(日)の2日間、東京都耳鼻科医学会が担当してパシフィコ横浜で開催された「東京フォーラム2009」は、初日の分科会・懇親会そして2日目の記念講演にと、会員・家族約280人が参加して、好評のうちに無事終了した。

「友人と親交を深めるだけでなく新しい友人も作って頂きたい」との東京都耳鼻科医学会会長笠原先生の挨拶で始まった分科会後の懇親会には、日本医師会会長唐澤祥人先生、東京都医師会会長鈴木聡男先生も来賓として出席され、祝辞を述べられた。また全体集会で記念講演をされる元広島大学学長、広島市現代美術館館長の原田康夫先生もご出席され、年齢を感じさせない張りのあるテノールでカンツォーネを3曲披露され、万雷の拍手を浴びていた。さらにプロピアニスト上田晴子さんのピアノ演奏、横浜中華交友会の獅子舞も披露され、懇親会は多に盛り上がった。

全体集会では3題の記念講演があった。

記念講演1の日本大学芸術学部教授佐藤綾子先生の「思いやりと信頼のメディカルパフォーマンス」では、患者さんが病院選んで重視するのは、「家の近所にある」「医師や看護師の対応が良い」「口コミの評判が良い」という結果であったという日経新聞の記事を紹介して、患者さんの要求は1つ目は、適切な治療を受けたい、2つ目は人間関係の要求であり、親しみを感じたい、認めて欲しい、聞いて貰いたいことである。そして入室2秒の読み取りが大事であり、医師が患者さんを読み取ると適切な言葉がけができる、患者さんは「観客さん」でもあり、いつも医師を注視しており、先生がいい顔ならば不安が解消する。そしてどういふパフォーマンスだったら良いかなどビデオも交えてわかりやすく話をされた。

記念講演2では、広島大学元学長で広島市現代美術館館長の原田康夫先生が、耳石代謝の研究から - ハトの帰巢の秘密まで - と題して講演された。まず、人間にはない「壺囊」の話ではじまり、この壺囊には球形囊や卵形囊の耳石には含まれていない、鉄やマンガン、亜鉛が含まれており、これが地磁気を感じているのではと考えて、伝書バトの壺囊神経の1側切断したものと、磁石を伝書バトの1側の外耳孔下に貼り付けて地磁気感受能を錯乱して飛ばす実験をおこない、帰巢できないハトや帰巢できても日数がかかったハトがあり、壺能が帰巢の謎をとく鍵であることを証明したことなどを話され、鳥インフルエンザの騒ぎで日本では伝書バトが入手困難になったが幸いスイスのハトの研究家である解剖学教授の協力が得られるようになったので今後も実験を続けたいと話された。

記念講演3では作家の渡辺淳一氏が「鈍感力」と題して講演された。「鈍感力というのは往々にして結構誤解されて、鈍くて無神経なのが鈍感力と錯覚されている人がいるが、鈍感力というのは、人生長い間色々失敗や困ったことやマイナスの時に、また立ち直ってゆけるようなしたたかな力を鈍感力と言いたいと思っている。デリケートでシャープで鋭いのがよいと思われているが、そんなことはない。いい意味でおおらかで鈍いほうが長い一生の間ではそういうのが有効だと思っています。」ということから話始め、整形外科の医局時代の話、作家をめざしたきっかけ、売れない時代の苦労などの話をして、「人間ほめられて才能が出てくる、子どもの時からほめてください。褒めて頭(ず)にのらせる、木に登らせる、これだ大事だ。」と話し、最後に「色々な人間に会って刺激を受けて多少悪い奴ともつきあう。それが成長というもの、それが鈍感力をつけて行く。人ほど面白いものはない。医療の場は人間勉強の素晴らしい場で、同時に自分を省みる場である。単に医療は働く場ではなく、それプラス人間勉強の場で、それを臨床という。」ということで話を締めくくった。

政権が変わっても社会保障は内容的には変わらないだろうと思う 参議院議員 西島英利先生
本会顧問でもある参議院議員西島英利先生は6日の全体集会での祝辞の中で次のように述べた。

「総選挙も行われ、政権が交代します。本来社会保障、医療も含めてですがこれは政権が変わっても内容的には変わらないというのが本来の姿ではないかと私自身思っております。おそらく大きな変更はないだろうと思いますが細かいところで先生方が安心して医療が提供でき、国民皆さんが安心して医療を受けられる、そういう環境作りが私の役割ではないかと思っております。これからも全力を挙げて国会議員としての活動をして行きたいと思っております。ご支援を宜しくお願いしてお祝いのご挨拶と致します。」

医会長協議会は12月6日(日)に

9月6日パシフィコ横浜会議センターで行われた第2回全理事会で今後の会議日程が下記のように決まった。

10月11日(日) 第3回全理事会
12月6日(日) 平成21年度第1回医会長協議会
及び第4回全理事会

平成22年

1月10日(日) 第5回全理事会
3月14日(日) 第6回全理事会

平成22年度

5月23日(日) 第1回全理事会
6月27日(日) 平成22年度定時都道府県代議員会
及び総会

なお12月の医会長協議会での特別講演には前参議院議員の武見敬三氏を講師に迎えて、日米の医療制度を中心に話をして頂く予定。

来年のフォーラムは9月19日(日)20日(月)に日耳鼻医学会役員が中心になって行われる第35回臨床家フォーラムは既に3回準備委員会が開かれ、9月19日(日)・20日(月・祝日)の2日間にわたり、品川駅港湾口にあるココヨホールで開催する方向で準備に入っている。

分科会のテーマは(1)効率の良い医療経営を行うには、(2)私の診察室(診療上の工夫、自己開発の機器の紹介など)、(3)医業経営理念と従業員教育など。

特に若い開業医の先生に沢山参加して頂けるような内容にしたいとして準備を進めている。このために会員の先生方に医業経営を中心にした内容のアンケート調査を行う予定。



GlaxoSmithKline 生きる喜びを、もっと
Do more, feel better, live longer

新発売

定量噴霧式アレルギー性鼻炎治療剤

処方せん医薬品(注意-医師等の処方せんにより使用すること) 薬価標準取載

アラミスト®

点鼻液27.5µg 56噴霧用

Allermist® 27.5µg 56metered
Nasal Spray

フルチカゾンフランカルボン酸
エステル点鼻液

※「効能・効果」、「用法・用量」、「用法・用量に関連する使用上の注意」、「禁忌を含む使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。

製造販売元(輸入)
グラクソ・スミスクライン株式会社

グラクソ・スミスクラインの製品に関するお問い合わせ・資料請求先
TEL 0120-561-007(9:00-18:00/土日祝日および当社休業日を除く)
〒151-8566 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-6-15 GSKビル FAX 0120-561-047(24時間受付)

2009.6